

事務事業	11005	届出保育施設一時預かり助成事業	担当課	子育て支援課	担当係	保育係
計画期 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予算 科目 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える		款	3	民生費
				項	4	児童福祉施設費
				目	1	児童福祉施設総務費
法令根拠条例等	志免町届出保育施設一時預り保育利用料補助金交付要綱		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H12 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
就労や疾病・出産及び私的reason等により、一時的に児童の家庭での保育が困難となる町内の保護者が指定届出保育施設(3施設)における一時預りを利用する場合、登録者に対し1日8時間かつ週3日を限度に1時間あたり200円を補助する。補助の対象となる理由及び日数に制限を設けている。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
利用希望者の登録受付、登録名簿作成、届出保育施設から提出された補助金交付申請書のチェック、利用人数・利用金額の算出、補助金支払(保護者の各口座)		
		一時預かり保育事業補助金 207 千円
		千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ①利用希望者の登録申込書の受付 ②登録名簿の作成 ③補助金交付申請書の審査 ④利用人数・利用金額の算出 ⑤補助金の支払い	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>実施箇所数</td> <td>箇所</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>登録申請者数</td> <td>人</td> <td>94</td> <td>81</td> <td>80 (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>審査件数</td> <td>件</td> <td>237</td> <td>218</td> <td>250 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	29年度	30年度	31年度	ア	実施箇所数	箇所	3	3	3 (見込)	イ	登録申請者数	人	94	81	80 (見込)	ウ	審査件数	件	237	218	250 (見込)																																
		名称		単位	29年度	30年度	31年度																																																							
		ア	実施箇所数	箇所	3	3	3 (見込)																																																							
イ	登録申請者数	人	94	81	80 (見込)																																																									
ウ	審査件数	件	237	218	250 (見込)																																																									
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>就学前児童数</td> <td>人</td> <td>2,971</td> <td>2,886</td> <td>2,919 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	29年度	30年度	31年度	ア	就学前児童数	人	2,971	2,886	2,919 (見込)	イ					(見込)	ウ					(見込)																																		
名称		単位	29年度	30年度	31年度																																																									
ア	就学前児童数	人	2,971	2,886	2,919 (見込)																																																									
イ					(見込)																																																									
ウ					(見込)																																																									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 未就学児童の保護者	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア</td> <td rowspan="2">登録者数</td> <td>人</td> <td>目標 180</td> <td>100</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 94</td> <td>81</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ</td> <td rowspan="2">利用者数(延べ)</td> <td>人</td> <td>目標 500</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 237</td> <td>218</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ</td> <td rowspan="2">登録者一人あたりの利用回数</td> <td>回</td> <td>目標 2.8</td> <td>2</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 2.5</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ</td> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オ</td> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	29年度	30年度	31年度	ア	登録者数	人	目標 180	100	80		実績 94	81		イ	利用者数(延べ)	人	目標 500	250	250		実績 237	218		ウ	登録者一人あたりの利用回数	回	目標 2.8	2	2.5		実績 2.5	2.6		エ			目標				実績			オ			目標				実績		
		名称		単位	29年度	30年度	31年度																																																							
		ア	登録者数	人	目標 180	100	80																																																							
	実績 94			81																																																										
イ	利用者数(延べ)	人	目標 500	250	250																																																									
			実績 237	218																																																										
ウ	登録者一人あたりの利用回数	回	目標 2.8	2	2.5																																																									
			実績 2.5	2.6																																																										
エ			目標																																																											
			実績																																																											
オ			目標																																																											
			実績																																																											
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)																																																														
必要な時に子どもを預けられる。																																																														

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	252	480	207	408	408	408
		合計(A)	252	480	207	408	408	408
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	295	399	1,819	1,045		
	トータルコスト(A)+(B)	547	879	2,026	1,453	408	408	

## 事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
在宅保育家庭等の育児疲れ解消、急病や断続的勤務・短時間勤務等の勤務形態の多様化等に伴う一時的な保育に対するニーズが高まったことによる。平成12年7月1日、町で要綱を制定し、届出保育施設一時預り補助事業を開始。	平成19年度までは指定届出保育施設を1箇所としていたが、平成20年度からは町内全ての届出保育施設に広げ、指定保育施設を4箇所とした。認可保育園と届出保育施設で行っている一時預り保育が混同していたため、平成20年度から届出保育施設利用の補助事業に特定した。就労する母親の増加等により、登録者数も増加した。	一時預かり保育利用者から、「少しでも負担が軽減されるのは助かる」という意見がある。

### (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	29年度は利用者数が減少したため、各届出保育施設の受け入れ状況等、保護者のニーズに対し十分な受け皿があるかを把握し、事業の在り方を検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	住民のニーズに対し十分な受け皿があるのか検討する必要がある。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	未就学児童の保護者の経済的負担を軽減することで利用がしやすく、かつ必要なときに子どもを預けることは、安心して子どもを育てることができることにつながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	1日8時間かつ週3日という補助金限度はあるが、保育にかかる保護者の経済的負担を軽減するため、適切である。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	保護者が必要な時に必要な時間だけ子どもを預けることができています。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	補助がなくなると負担額が増え、利用しづらくなり、利用者が減少するため。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	相応な予算、事務従事時間と考えられるため削減の余地はない。

### (2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

リフレッシュ利用や就職活動、短時間就労の理由で多く利用されている。必要な時に子どもを預けることができています。
---

## 3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	各届出保育施設の受け入れ状況等、保護者のニーズを把握する。また、広報活動を積極的におこない、保護者の育児負担を軽減し、安心して子どもを育てられるよう支援する。